

令和5年4月に実施した養浜後の海浜状況

1. 令和5年4月実施の養浜（目的と方法）
2. 養浜箇所状況（石、陸上植生）
3. 養浜後のモニタリング結果

1. 令和5年4月実施の養浜（目的と方法）

・養浜目的；七里ガ浜の海岸保全対策として，効果的な養浜方法を調べる．東向きの沿岸漂砂が卓越していると考えられたことから，プリンス駐車場東側海岸に養浜を実施した．

実施時期； 2023年4月13日～28日（土砂運搬・盛土整生期間。仮設工事は除く。）

L=76.8m V=1,935.5m³

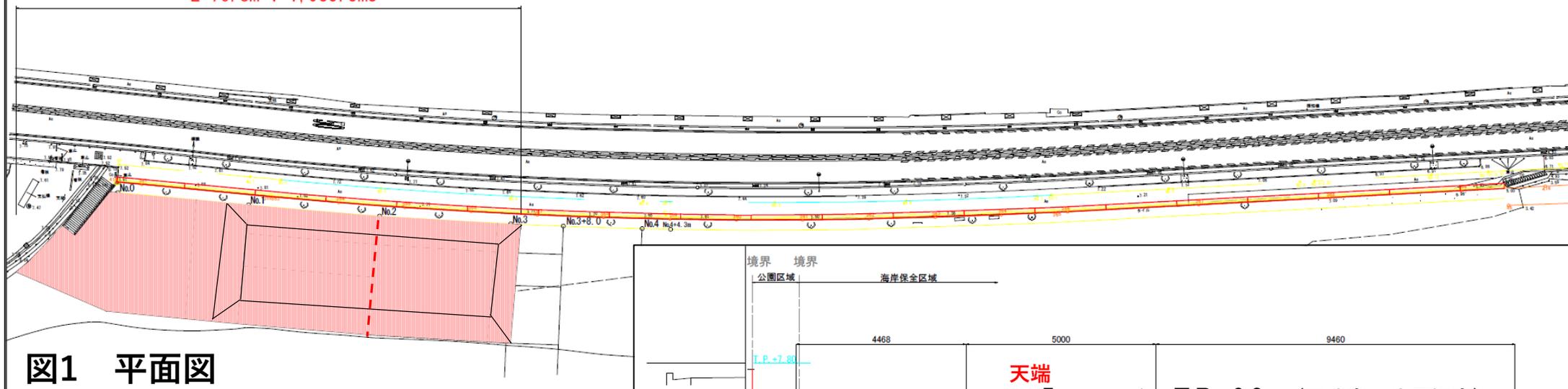


図1 平面図

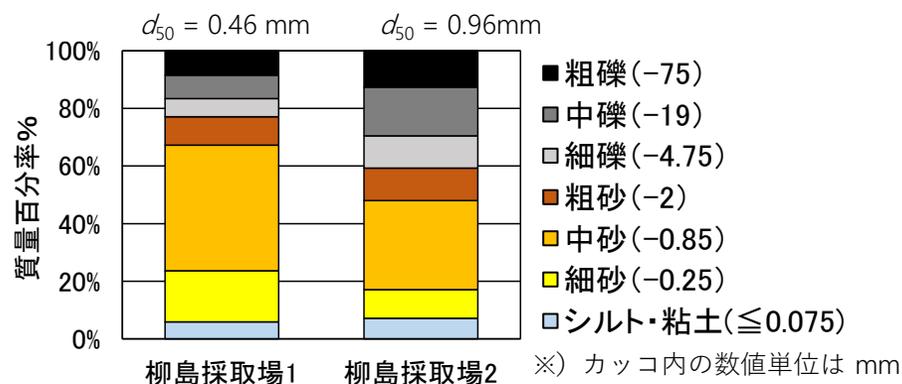


図3 養浜材料の粒径分布

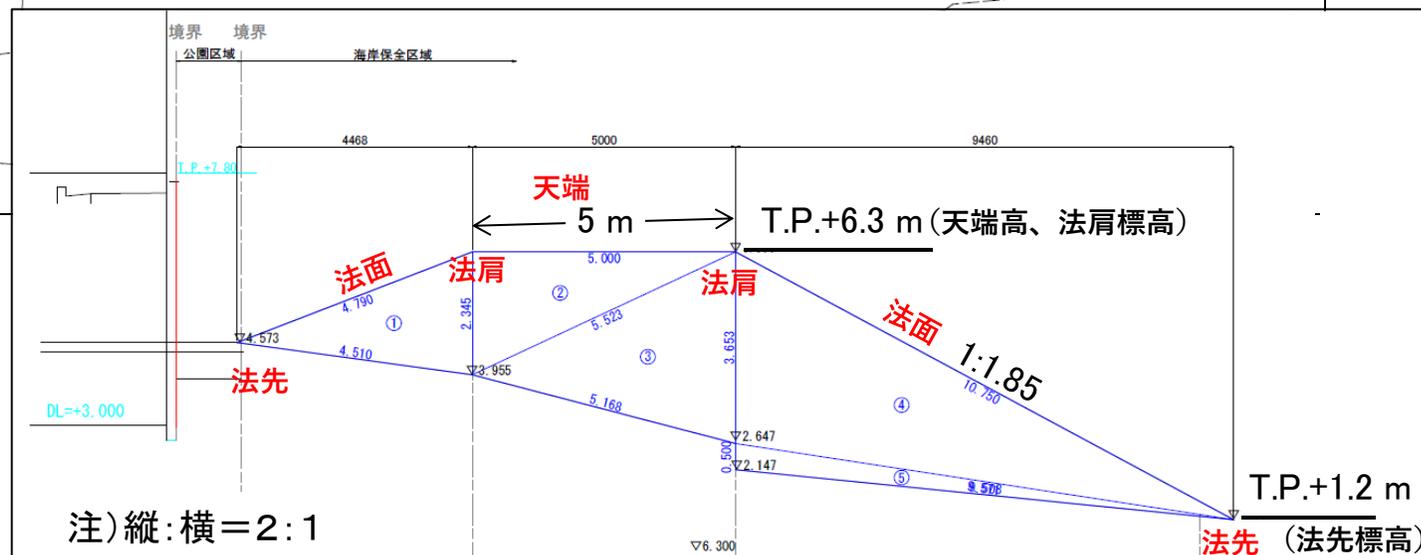


図2 断面図（測線No.2；図1の赤点線）

2. 養浜箇所 の 状況 (石、陸上植生)

- ・ 養浜材として含まれていた、直径30cm以上の石の一部が海浜に流出し、管理に課題が残った。
- ・ 養浜材の天端及び法面で繁茂していたメヒシバがは見た目上は枯れていた。



3. 養浜後のモニタリング結果

(3) ドローン画像 全域



図6 ドローン画像（広域；2023年9月11日）

3. 養浜後のモニタリング結果

(4) ドローン画像 狭域（養浜箇所とその東側近傍）（6時期）4/10, 4/28, 5/10, 6/6, 9/11、2/9



図7 (1) ドローン画像（狭域；2023年4月10日）

3. 養浜後のモニタリング結果

(4) ドローン画像 狭域（養浜箇所とその東側近傍）（6時期）4/10, 4/28, 5/10, 6/6, 9/11、2/9



図7 (5) ドローン画像（狭域；2023年9月11日）

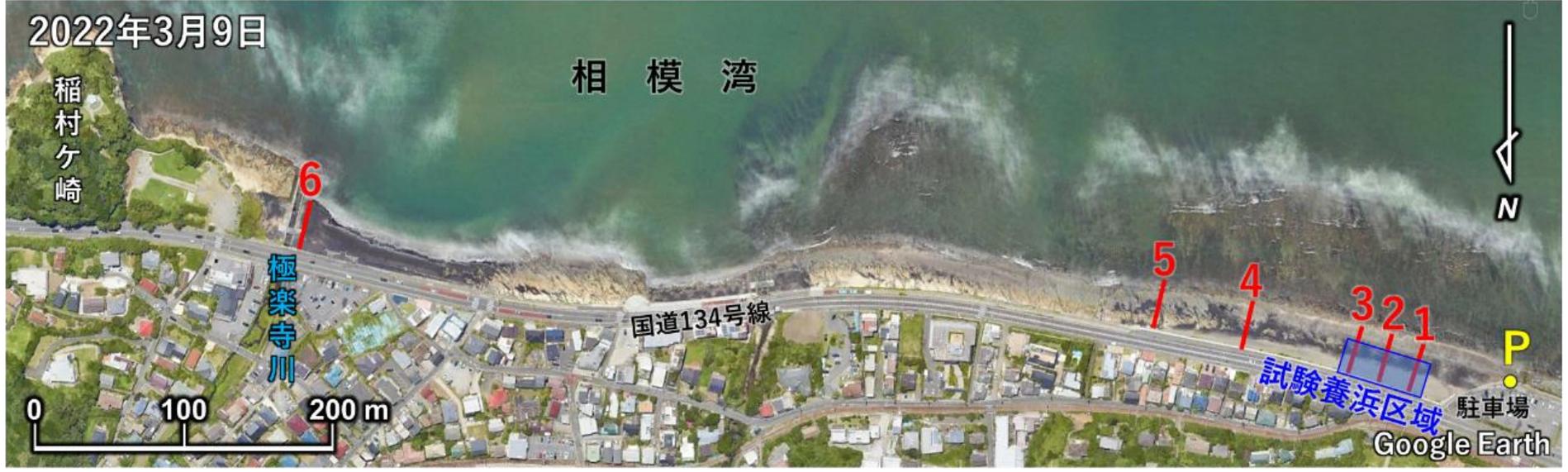
3. 養浜後のモニタリング結果

(4) ドローン画像 狭域（養浜箇所とその東側近傍）（6時期）4/10, 4/28, 5/10, 6/6, 9/11、**2/9**



図7 (6) ドローン画像（狭域；2024年2月9日）

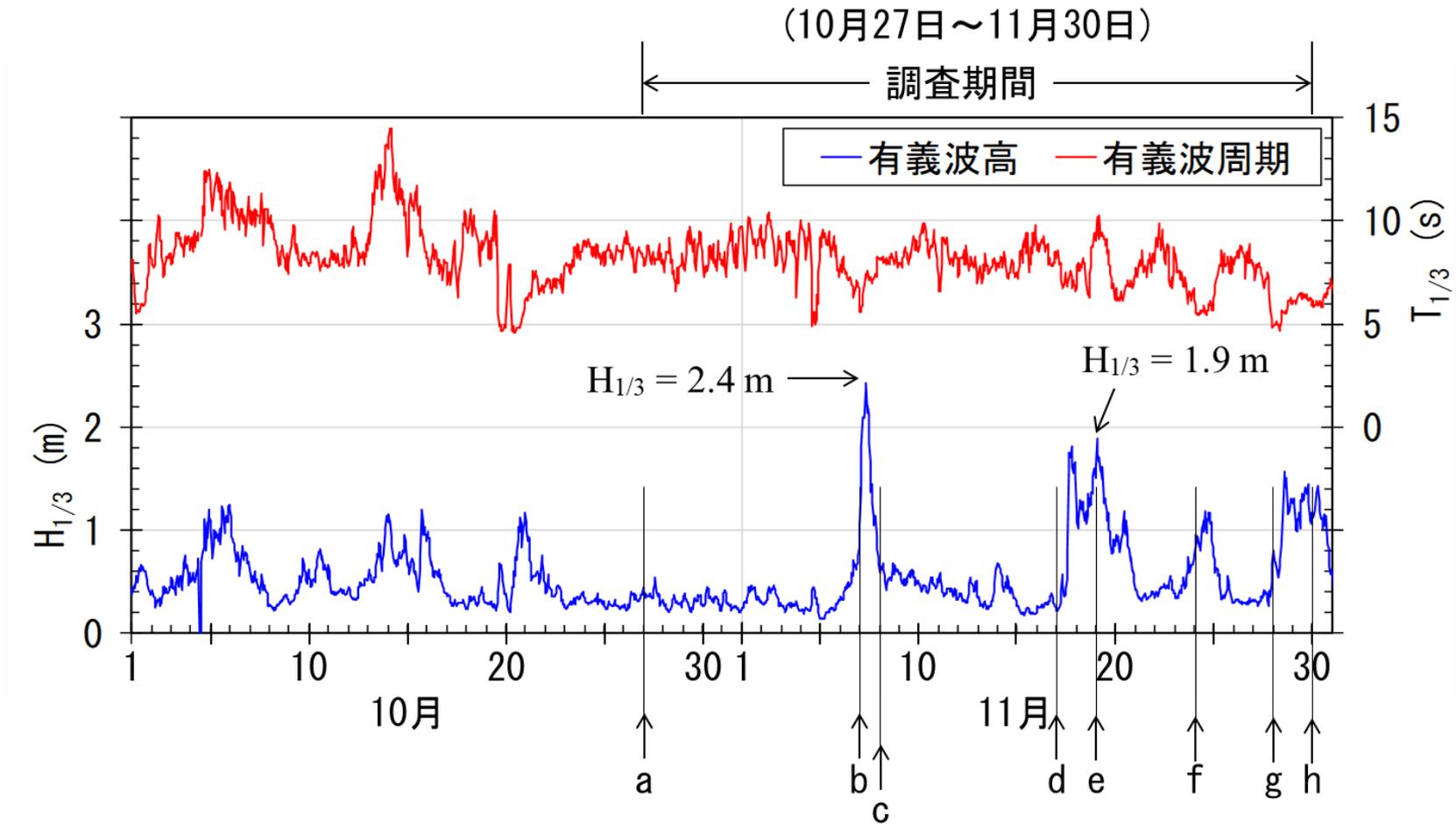
3. 養浜後のモニタリング結果



- RTK-GNSS による地形計測の測線
- P タイムラプスカメラ設置位置

図-1 養浜盛り土周辺における調査測線の配置

3. 養浜後のモニタリング結果



2023/11/ 7 8:00 $H_{1/3} = 2.423 \text{ m}$, $T_{1/3} = 7.2 \text{ s}$

2023/11/19 1:00 $H_{1/3} = 1.889 \text{ m}$, $T_{1/3} = 10.2 \text{ s}$

図-2 平塚沖波浪観測所での観測結果と写真撮影時期

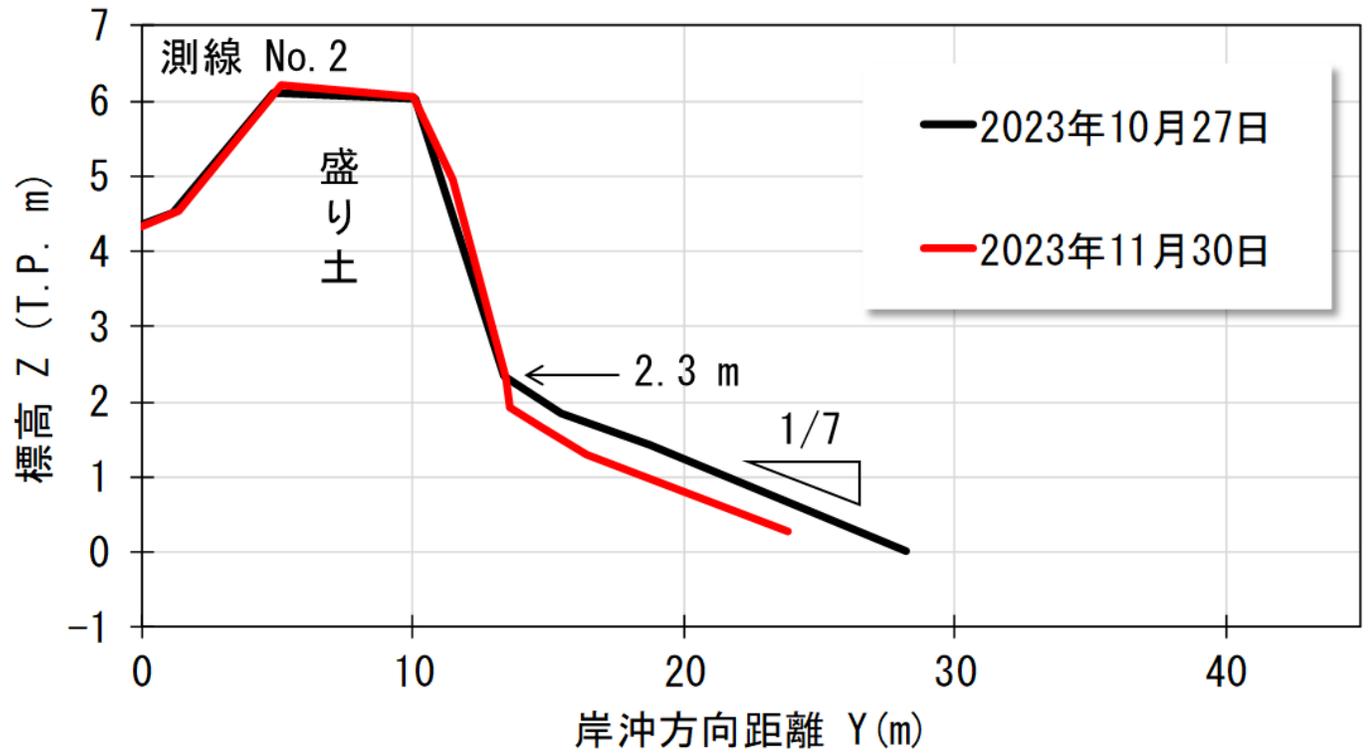
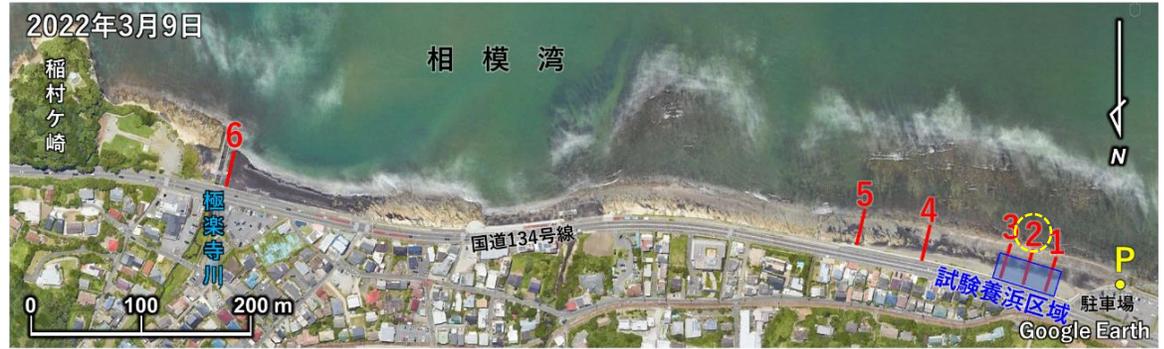


図-3 縦断測量の結果 (測線 No. 2)

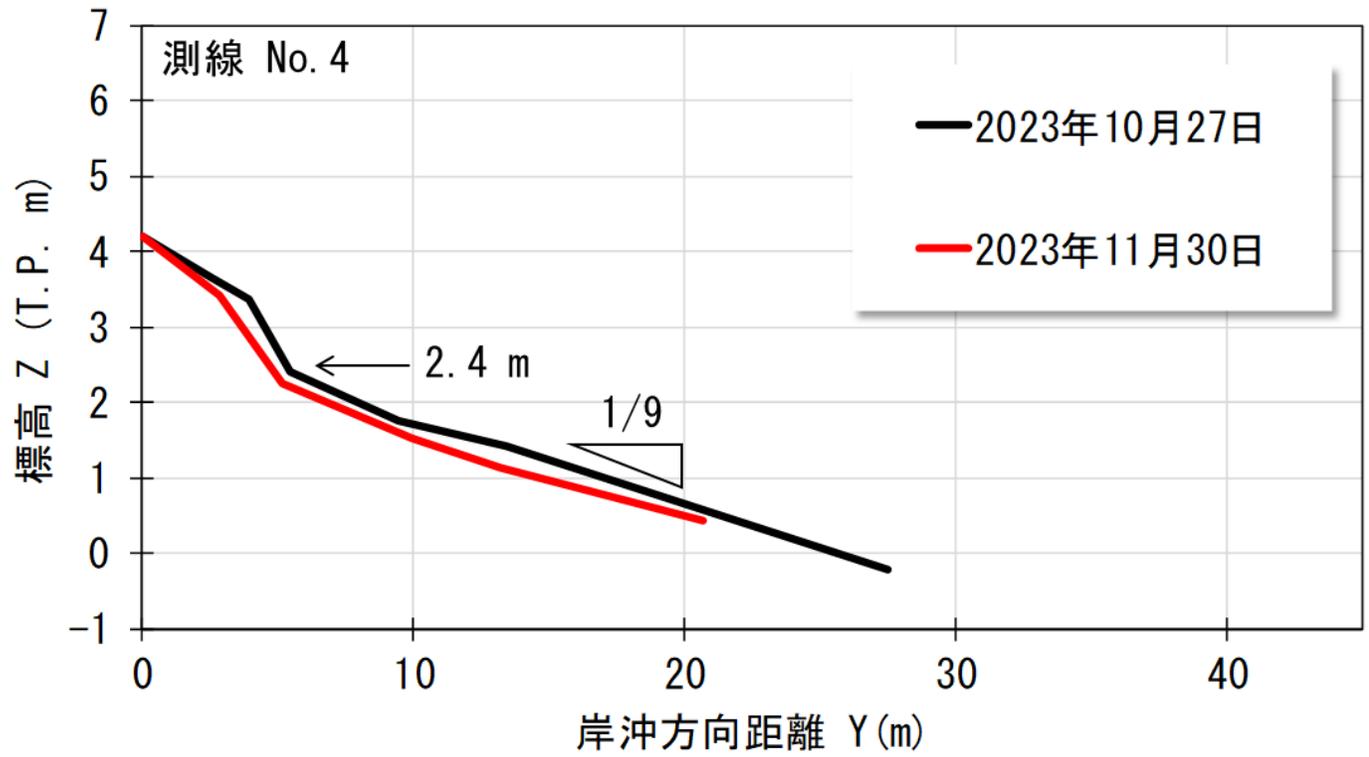
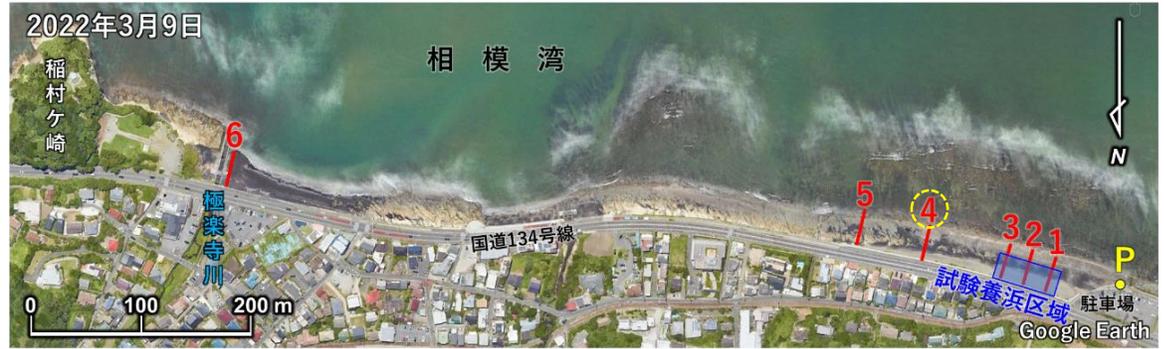


図-3 縦断測量の結果 (測線 No. 4)

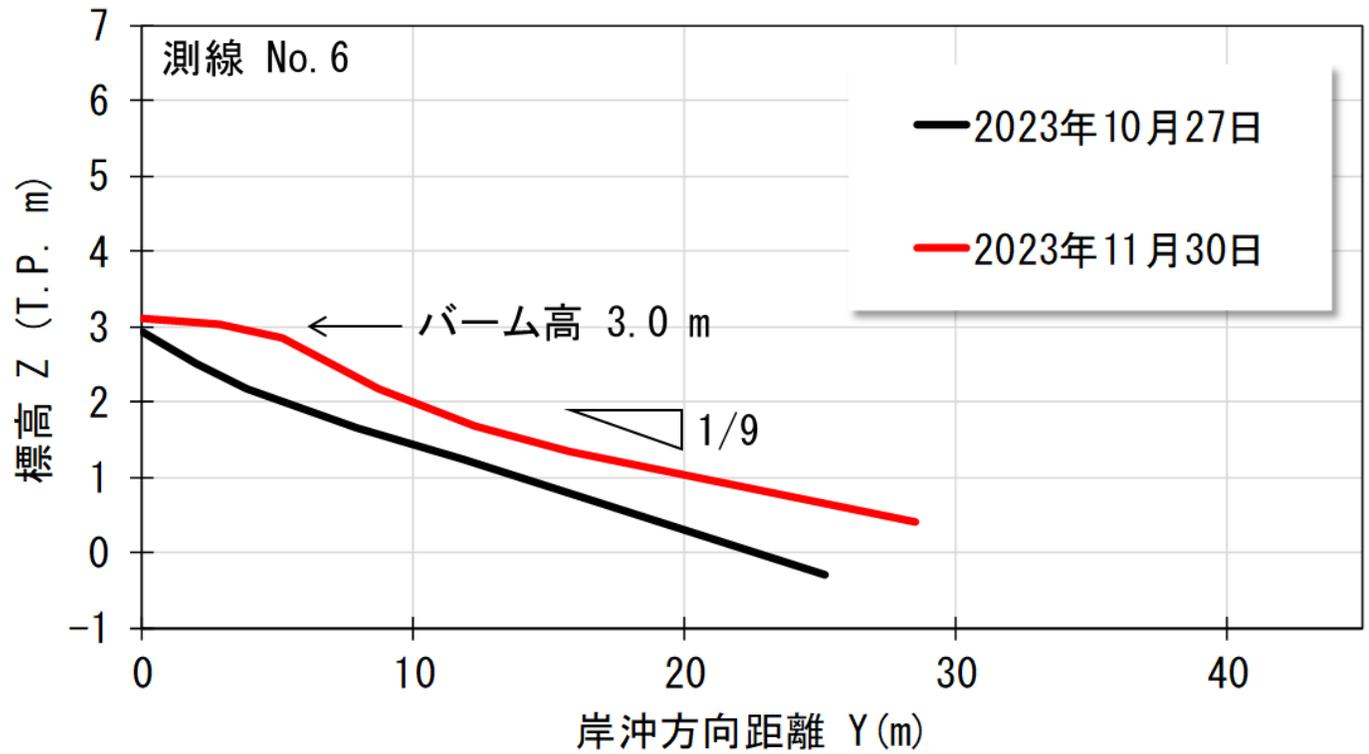
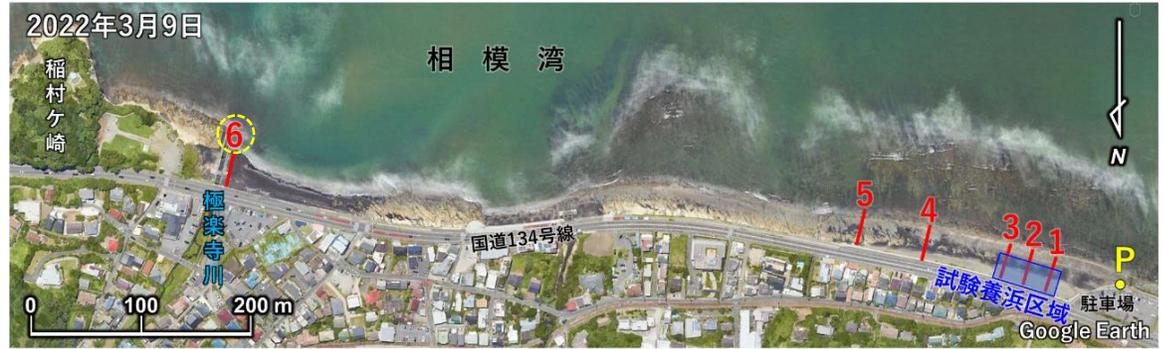


図-3 縦断測量の結果 (測線 No. 6)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年10月27日)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年11月7日)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年11月8日)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年11月17日)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年11月19日)

3. 養浜後のモニタリング結果

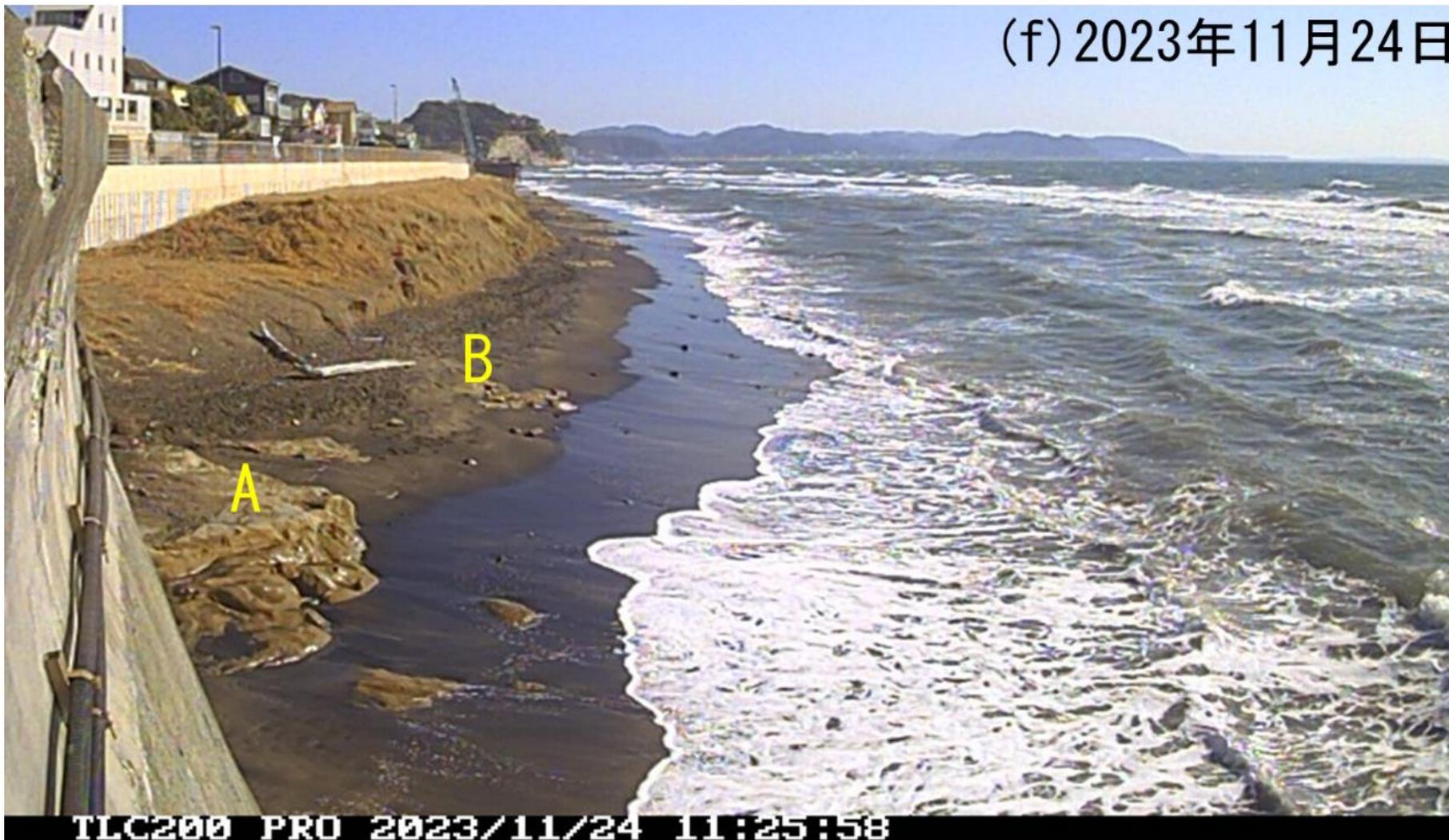


図-4 タイムラプス写真 (2023年11月24日)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年11月28日)

3. 養浜後のモニタリング結果



図-4 タイムラプス写真 (2023年11月30日)

まとめ

- 養浜盛り土の追跡調査によれば、2023年10月27日～11月30日間に起きた高波浪の作用により、盛り土の前面は侵食されて海浜地盤高が約0.5 m低下して砂浜下にあった岩盤が露出した
- 同時に稲村ヶ崎の西側直近に流入する極楽寺川の河口導流堤の西側直近では砂が堆積して高さが3 mのバームが形成された
- 以上の観察結果から、上記の観測期間中、東向きの沿岸漂砂が発達し、砂が東向きに運ばれたことが確認された。